

第4号様式

指定管理業務評価表

施設名	富士見市立市民総合体育館	令和3年度	事業報告
指定管理者名	富士見FTパートナーズ		
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	所管課	協働推進部文化・スポーツ振興課

自己評価…指定管理者 所管評価…市(施設所管課)

個別評価項目	確認基準	自己評価	所管評価	施設所管課評価意見	
人員体制	事業計画書どおりの人員を配置している。	A	A		
	必要な資格や経験を有する人員が配置されている。	A	A		
	責任者(代理する者)が施設に常駐している。	A	A		
職員の対応等	仕事内容を十分に把握し、利用許可や施設案内等を迅速かつ適正に行っている。	A	A		
	名札を着用し、業務遂行にふさわしい服装となっている。	A	A		
	利用者の要望や苦情等に対して適切に対応している。	A	A		
	言葉遣い、態度などの接遇は適切である。	A	A		
	事業計画に即し、職員研修を計画的に実施している。	A	A		
法令等遵守	法令、条例等に基づき管理運営を行っている。	A	A		
個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備され、個人情報の漏洩、滅失等の対策を講じている。基本協定書の個人情報取扱特記事項を遵守している。	A	A		
情報公開	情報公開に関する規程が整備され、適切に対応できる。	A	A		
報告書の提出	定期報告書、事業報告書を期限内に提出している。	A	A		
安全、緊急対策	事故・災害等緊急時のマニュアルがあり、訓練が実施され、連絡体制や対応体制ができています。また、事故等があった場合、適切な対応が行われ、報告が市にされている。	A	A		
	事故防止及び安全確保(避難通路の確保等)のために施設や設備の目視や点検を行い、常に施設や設備の状況を把握している。	A	A		
2 業務の内容・水準	維持管理	条例等の規定に基づき開館日、開館時間を遵守している。	A	A	
		外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	A	A	
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行い、利用者が施設を快適に利用できる環境となっている。	A	A	
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行い、利用者が安全・快適に施設を利用できている。	A	A	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理し、利用者が快適に利用できているか。	A	A	
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A	A	
	事業運営	事業計画書に即し、自主事業を実施している。	A	A	
		事業内容が利用者サービスの向上に寄与している。	A	A	
		地域や他施設との連携に努めている。	A	A	
	利用者アンケート	利用者の要望等の把握方法は適切である。	A	A	
		要望等の対応策は適切である	A	A	
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準にある。	A	A	
管理記録	業務日誌を適切に整備、保管している。	A	A		
	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A		
環境配慮	省エネ、ゴミの抑制、リサイクルの推進に努めている。	A	A		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	A	A	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は適正である。	A	A	
	経費削減	経費が削減され、又はその削減に向けた努力を行っている。	A	A	
総合評価		A	A		
成果・課題等	(自己評価) ・コロナ禍での営業管理体制が確立されてきましたが、スタッフ間でのコロナ罹患者も継続して発生しています。施設の利用状況ですが、貸館は利用人数・換気の時間をご理解いただき通常営業しております。しかしスポーツジムは3部制を継続しており、収入や利用人数に関してコロナ前の半数程度となっており通常営業に戻すタイミングを検討しています。 ・消毒用のアルコールや塩素などは消耗品の増加につながっています。				
	(所管評価) コロナ禍での運営も約2年が経過し、運営体制の確立がされたと思われる。利用人数・換気の時間、スポーツジムの3部制等の制限は設けているが、その中で最大限市民が利用できるように工夫を凝らして運営してきた点については評価できる内容であった。今後も新型コロナウイルスの影響は継続すると予測されるが、日々研鑽を積み市民サービスの向上に努めること。				

※評価区分

① 個別評価	AA(優良)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理運営内容である。 A(良好)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理運営内容である。 B(問題含)＝協定書、仕様書等を遵守しているが、管理運営内容の一部に問題がある。 C(要改善)＝協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善が必要な管理運営内容である。
↓	
② 総合評価	AA(優良)＝個別評価がすべてA以上であり、かつAAが過半数である。 A(良好)＝個別評価がすべてA以上である。(上記以外) B(問題含)＝個別評価がすべてB以上であり、Bの割合が1割未満である。 C(要改善)＝上記以外